

町会報

えひめ

2012
10
Vol.43

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



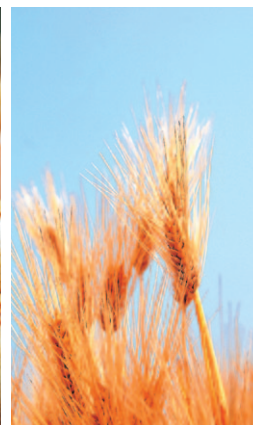
①



②



③



松前町「もろみ」「さくべえコロッケ」 「義農まんじゅう」

Contents

愛媛県町村会第3回全員連絡会	2
新町長紹介	2
災害共済関係事業の加入推進打合せ	2
随想 中村剛志砥部町長	3
町からのお知らせ	3
普通地方交付税額調	4~5
町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会	6
編集後記	6
一筆	7
10月の行事	7
全国町村議会議員団体医療保険のお知らせ	8

愛媛県は、麦畑の生産量が25年連続日本一。とりわけ松前町は、享保の飢饉の際、身を犠牲にして麦種を村びとに残した義農作兵衛の心を受け継ぎ、裸麦の生産と利用が盛んに行われています。

①「もろみ」

裸麦と米、大豆を生かした発酵食品の常備菜「もろみ」。いつでも食べられる、甘味があってまろやかな食卓の友

②「さくべえコロッケ」

「裸麦と地元の野菜を使って、手軽に食べられるものを作りたい」という思いからできた「さくべえコロッケ」。地産地消のお店「まさき村」でしか手に入らない松前町の新名物

③「義農まんじゅう」

麦味噌の香ばしい香りと素朴な風味の「義農まんじゅう」。「義農作兵衛のやさしい心を後世に伝えたい」と、生活改善グループが工夫を重ねて完成させたおまんじゅう

地方税滞納整理機構の支援へ

第3回全員連絡会

県町村会では、10月10日県自治会館で「平成24年度第3回全員連絡会」を開催した。

会議には8町長が出席。内子町は稲田副町長が代理出席した。議事の概要は次のとおり。

- 1 開会
 - 2 あいさつ 白石会長
 - 3 報告
 - 4 協議
- 協議に先立ち、進歩市町振興課長から「行革甲子園」開催に伴う変更点についての概要説明があり、一同

了承した。

- (1) 「愛媛県市町村職員共済組合」の組合会議員選挙について
山内県市町村職員共済組合事務局長から、組合会議員選挙の方法や時期等についての内容説明があり、一同了承した。
- (2) えひめ結婚支援センターの事業概要について
白石会長から内容説明があり、協議の結果、一同了承した。
- (3) 「愛媛県地方税滞納整理機構」への支援に関する要望（案）について
事務局から、例年どおり県市長会、滞納整理機構とともに、別紙（省略）により県への人的・財政的支援をもとめる要望を行いたいとする説明があり、協議の結果、一同了承した。

5 報告

- (1) 住民のいのち・くらし・安全、安心を守る地域・自治体めざし、自治体労働者が健康で安心して働ける職場づくりを求める要求書について
白石会長から、自治労連県本部からの申し入れについて報告があり、各町それぞれで対応すること、一同了承した。
- (2) 次回の全員連絡会について
白石会長から

次回の開催については伊方町で開催することとし、細部については正副会長に一任すること、一同了承した。



災害共済関係事業の加入推進打合会を開催

県町村会・(財)全国自治協会県支部・全国町村職員生活協同組合県支部では、10月24日(水)、県農業共済組合連合会会議室で「災害共済関係事業加入推進等実施に伴う事務打合会」を開催し、加入団体の担当職員18名が出席した。

その内容は次のとおり

○災害共済事業の事務分担について
○打合せ

・保険会社から

(株)千里

(株)三井生命

(株)損保ジャパン

日本生命相互会社



- 平成24年度加入推進運動の実施について
- ①全国町村会・(財)全国自治協会事業
 - ②全国町村職員生活協同組合事業
- 平成24年度公共建物火災予防及び交通安全運動の実施及び事務取扱上の留意事項等について
- ①公有建物災害・自動車損害共済事業
 - ②全国町村職員生活協同組合事業
 - ③公有自動車・生協自動車事故
 - ④全国町村等職員任意共済保険事業
 - ⑤特定疾病保険事業
- その他

随 想



砥部町長

中 村 剛 志

平成14年11月、砥部町長選挙で初当選し、ちょうど丸10年となります。当時は、平成大合併の前で県内の市町村合されると70自治体、町村だけでも58自治体がありました。

町村の会合は郡単位がほとんどでしたから、県下全員の町村長が顔を合わせるのには年に一度の町村大会くらいでした。従って町村長の名前を覚えることも容易ではありませんし、新人の私にとっては顔と名前が一致するなどとても考えられないことでした。

現在は、約1／3の20自治体になりましたので名前も顔も全員覚えていますし、お付き合いもあります。

特に町村会合は、白石会長を中心に一つにまとまり、兄弟のようなお付き合いをさせていただいています。

定例会は本部と各町で交互に行っており、特に懇談会では町政の現状から採用試験のやり方、町づくりそして個々の町が抱えるいろいろな問題についてざっくばらんに相談もでき、適切なアドバイスもいただけます。

そして、その土地土地の歴史や風土、人間性も肌に触れて感じることがができます。私だけかもしれませんが(?)郷土料理や地酒を味わわせていただくことも楽しみの一つです。

こんなに仲の良い町村会合は、全国どこにもないと思います。

そして、県知事との関係も大変良好です。中村知事は我々と同じ市町村の首長であっただけに、同じ悩みを体験されたり、ご苦労もされていきますので、要望についてもいろいろとご配慮をいただいています。

中村知事がよく言われる「チーム愛媛」という言葉が私は大好きです。東日本大震災復旧の支援についても、個々の市町村の対応ではとてもあれだけの応援はできなかったと思いますし、修学旅行生を招待することもできなかつたと思います。(この事業は、後世まで語り継がれる大ヒットだと思っています。)

中村知事は、自らが発案し、先頭に立って行動します。我々も「すごいな、すごいな」と見ているだけでなく、見習って実践していかなければなりません。これからの町長は、ある意味オールマイティでなければなりませんし、今まで以上にリーダーシップ、実行力が求められていると思います。

私は、今期限りで引退します。残す任期もわずか3カ月となりましたが、最後まで全力で走り続けたいと思います。

町からのお知らせ

砥部町

●自然薯まつり

●場所／道の駅ひろた「峡の館」
●実施日／12月2日(日) 10時～15時

今年も自然薯の季節がまいりました。道の駅ひろた「峡の館」では、今年も食べておいしく、滋養にも良い自然薯を取りそろえ、自然薯まつりを開催します。自然薯はビタミンやミネラルが豊富で滋養強壮や老化防止に効くといわれています。また、砥部の自然薯は粘りが強く香りがいいと評判になっています。会場では、麦とろや揚げとろの試食がありますのでお楽しみに。



◀ 昨年の自然薯まつり

ご家族おそろいでぜひ砥部町道の駅ひろた「峡の館」に遊びに来てください。

◆問い合わせ／
道の駅ひろた「峡の館」
☎ 089(969)2070

本県の市町の基準財政需要額その他

本県の市町の平成24年度基準財政需要額、基準財政収入額、普通交付税決定額及び財政力指数・標準税収額等は次のとおり。

財 政 力 指 数 ・ 標 準 税 収 入 額 等

区 分 団 体 名	財 政 力 指 数				平 成 24 年 度 標 準 税 収 入 額 等
	22 年 度 【再算定後】	23 年 度 【再算定後】	24 年 度	3 ヶ 年 平 均 (22～24)	
松 山 市	0.691	0.692	0.697	0.693	71,237,473
今 治 市	0.571	0.607	0.571	0.583	22,781,489
宇 和 島 市	0.335	0.336	0.336	0.336	8,845,877
八 幡 浜 市	0.344	0.343	0.349	0.345	4,087,822
新 居 浜 市	0.723	0.745	0.744	0.737	18,861,469
西 条 市	0.685	0.716	0.711	0.704	17,009,693
大 洲 市	0.341	0.342	0.342	0.342	5,327,541
伊 予 市	0.400	0.411	0.419	0.410	4,295,273
四 国 中 央 市	0.800	0.820	0.814	0.811	16,593,212
西 予 市	0.239	0.242	0.243	0.241	3,824,953
東 温 市	0.486	0.488	0.499	0.491	4,245,687
市 計					177,110,489
上 島 町	0.228	0.204	0.210	0.214	821,978
久 万 高 原 町	0.174	0.176	0.175	0.175	1,134,845
松 前 町	0.741	0.726	0.717	0.728	4,382,686
砥 部 町	0.455	0.455	0.457	0.456	2,365,547
内 子 町	0.249	0.250	0.257	0.252	1,786,818
伊 方 町	0.547	0.524	0.538	0.536	2,881,506
松 野 町	0.151	0.153	0.149	0.151	346,153
鬼 北 町	0.204	0.210	0.205	0.206	1,061,291
愛 南 町	0.224	0.224	0.228	0.225	2,228,295
町 計					17,009,119
県 計					194,119,608

普 通 交 付 税

(単位：千円)

区 分 団 体 名	基準財政需要額	基準財政収入額	財 源 不 足 額	普通交付税決定額	臨時財政対策債 発 行 可 能 額
松 山 市	80,359,761	54,822,987	25,536,774	25,391,821	8,817,248
今 治 市	37,617,962	17,553,740	20,064,222	19,996,366	3,464,880
宇 和 島 市	22,443,517	6,851,972	15,591,545	15,551,061	1,589,832
八 幡 浜 市	9,692,665	3,157,235	6,535,430	6,517,947	690,285
新 居 浜 市	20,016,555	14,534,870	5,481,685	5,445,580	2,659,077
西 条 市	20,867,363	13,120,556	7,746,807	7,709,166	2,195,492
大 洲 市	13,793,987	4,190,596	9,603,391	9,578,509	966,069
伊 予 市	9,188,959	3,344,500	5,844,459	5,827,883	716,610
四 国 中 央 市	17,704,705	12,754,106	4,950,599	4,918,663	1,748,227
西 予 市	14,894,190	3,010,164	11,884,026	11,857,159	924,014
東 温 市	7,224,727	3,286,853	3,937,874	3,924,842	637,834
市 計	253,804,391	136,627,579	117,176,812	116,718,997	24,409,568
上 島 町	3,764,924	637,033	3,127,891	3,121,100	229,815
久 万 高 原 町	6,446,259	886,952	5,559,307	5,547,680	367,935
松 前 町	4,722,279	3,385,802	1,336,477	1,327,959	569,677
砥 部 町	4,360,520	1,844,590	2,515,930	2,508,064	376,786
内 子 町	6,516,415	1,402,116	5,114,299	5,102,544	417,677
伊 方 町	5,029,969	2,201,900	2,828,069	2,818,996	393,171
松 野 町	1,867,752	277,774	1,589,978	1,586,609	111,571
鬼 北 町	4,451,166	832,018	3,619,148	3,611,119	274,888
愛 南 町	9,521,695	1,747,061	7,774,634	7,757,459	583,305
町 計	46,680,979	13,215,246	33,465,733	33,381,530	3,324,825
県 計	300,485,370	149,842,825	150,642,545	150,100,527	27,734,393

(注) 1 基準財政需要額及び基準財政収入額は、錯誤措置後のものである。
2 24年度の調整率は、0.001803805である。

町村監査功労者表彰式 町村監査委員全国研修会

金本上島町監査委員が謝辞

全国町村監査委員協議会主催による「町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会」が、10月3～4日に東京メルパルクホールで開催され、全国から1,400人の関係者が参加して盛大に開催された。本県からは18名が参加。

表彰式では、総務大臣（代理）、藤原全国町村会長及び高橋全国町村議会議長会長からの祝辞の後、監査委員として7年以上在職し功労のあった方73人、監査事務職員として10年以上在職し功労のあった方3人の合



謝辞を述べる金本上島町代表監査委員



開会のことばを述べる上甲本県会長（鬼北町）

計76人が表彰された。なお、本県関係では金本鎮雄上島町代表監査委員及び程内哲雄鬼北町監査委員の2人がその栄に浴した。
なお、最後に金本監査委員が全国の受賞者を代表して謝辞を述べ、式典を終了した。
引き続き開催された全国研修会では、まず、上甲本県会長（鬼北町代表監査委員）が開会のことばを述べた後に研修に入り、はじめに「地方公営企業会計の見直し」と題して、総務省自治財政局公営企業課長の木幡浩氏が、次いで「地方自治の展望と課題」と題して、日本経済新聞論説委員兼編集委員の谷隆徳氏の講演が行われ、1日目を終了した。

平成24年度町村監査功労者表彰式 第22回町村監査委員全国研修会日程

場所：メルパルクホール

月 日	時 間	プ ロ グ ラ ム
10/3 (水)	12:00～13:00	受 付
	13:00～13:05	会長あいさつ
	13:05～13:30	町村監査功労者表彰 表彰状授与 来賓祝辞
		受章者代表謝辞
10/4 (木)	13:40～13:45	開講あいさつ
	13:45～15:15	地方公営企業会計制度の見直し
	15:20～16:50	地方自治の展望と課題
10/4 (木)	9:30～11:30	効率的監査の執行の仕方と監査責任について
	11:30～11:35	閉講あいさつ

2日目は、「効率的監査の執行と監査責任について」と題して、公認会計士の池田昭義氏の講演があり、2日間の全日程を終了した。

編集後記

今月号の町の郷土料理は松前町の麦を使った3品です。定番の「もろみ」に、新しい「やぐべえコロッケ」と「義農まんじゅう」どれも美味しそうですね。松前町に生まれ育った僕にとつて、こうした品々は嬉しい限りです。皆さん、ぜひご賞味くださいね。

白玉の歯にしみとおる秋の夜の酒は静かに呑むべかりけり
秋の夜長。今夜は本でも読みながら「もろみ」と「コロッケ」で一献、傾けようか。

秋が深まり十三夜。今年は10月27日でしたが、あいにくの天候でしたね。今はほとんど見かけませんが、子供の頃はよく月見をしたものです。月にかかる流れる雲はきれいですね。そういえば、すすきも見なくなりました。明日から霜月。もう冬隣です。

今年を振り返るには早いですが、あつという間に1年が経とうとしています。齢を重ねるごとに月日の流れが本当に早く感じられるようになりました。
何かで読んだのですが、子供と大人の1年は濃度が違うと。つまり分子を1年とすると、分母が50歳と10歳とでは割合が違うという理屈。ふむ、ほんまかいな。

個人的に、今年は大きなアクシデントがなかったたので、総じて悪くない1年でした。よし来年もと、今、密かに計をたてているところですよ。さて、どうなることやら。



ヒト・人の行方

スポーツの動から、紅葉・行楽、読書に親しむ静の秋になった。早くも年賀状の作成に入った人もいる。一年経つのが『早い』と感じる人が多い時期でもある。

先ごろ山中伸弥京大教授が、「iPS細胞」でノーベル医学・生理学賞に輝いた。山中教授は、10年前化学でノーベル賞を受賞した田中耕一さんの謙虚、賢人と何処か似通ったところがある。似非研究者?とは、誰がみても違いが分かる心地よさがある。

ヒトの遺伝子は2万以上あるらしい、苦節の研究結果「ヒトの人工多能性幹細胞(iPS細胞)の誕生」は、素人も驚嘆・感動の一言である。再生医療に繋がり、病気の解明、新薬の開発など、医療の未来は可能性の高いものとして無限であろう。勿論これからの「始まり」であること、理解しつつである。

いろんな組織、臓器になる新型万能細胞であるiPS細胞については、山中教授が、5年前にヒトで細胞作製に成功済みである。今や、iPS細胞を使い「心筋細胞」を世界初の作製法、高効率、低コストで京大中辻教授チームが成功。さらに世界初の治療となる「加齢黄班変性」(目の病気。国内70万人近い患者)への「iPS細胞」は、来年度治療実施に向けた(理化学研究所発生・再生科

学総合研究センター・神戸市)、臨床研究の倫理申請が報道された。万能細胞の誕生は、パーキンソン病はじめ難病に苦しみ悩む人達への朗報である。世界に誇る日本の研究者・頭脳集団へ惜しみない拍手と限りない支援(国の研究費措置)を贈りたいものである。

一方、現社会には朗報の裏面に、未だ帰らない拉致被害者の問題がある。これも「人」の問題であり、国民の保護安全確保に係る事案として、決して目を離してはならない。5人の拉致被害者が帰国してからでも10年経った。

当事者しか本当の悲しみ、無念さ、苦しみは分かりえないであろう。だとすれば一刻も早い糸口、打開策を関係者は人々の大きな声々を背景にして、なお一層推し進めねばならない。

価値ある担当指揮官は、交替することなく継続して関わる事は出来ないものか。残された親が「今か、今か」と齢を重ねる中で待っている心情は計り知れない。胸の青バッチに限らず、指揮官が自分の胸中に思いを置き換え、本気度を何倍も上げねば、解決は厳しくおぼつかない。今、地方固有の財源である「地方交付税」本来の精神が揺らいでいる。地方軽視は、基礎の無い砂上の国になる。

今こそ我田引水に時間を費やさずヒト・人皆が一丸となって、震災復興と元氣な日本を取り戻そう!

(丁) 「言語は外的思想であり、思想は内的な言語である」

(リバロール フランスの語学者)

10月の会と催し

- ▽1日＝農林水産省の農村派遣研修生来県
- ▽2日＝全国町村監査委員協議会幹事会、同役員会、同役員懇談会
- ▽3日＝平成24年度監査功労者表彰式及び第22回町村監査委員全国研修会(4日まで)、電力みえる化の説明会
- ▽4日＝全国町村議会議長会連絡調整会
- ▽8日＝平成24年度愛媛県市町総合事務組合職員採用試験(2次試験)、愛媛県町村会正副会長会議
- ▽9日＝(公財)えひめ農林漁業担い手育成公社第1回理事会
- ▽10日＝愛媛県町村会平成24年度第3回全員連絡会、愛媛県行革甲子園、第17回全国障害者スポーツ大会愛媛県準備連絡協議会
- ▽11日＝全国過疎問題シンポジウムinあいち(12日まで)、中国四国地区退職手当事務連絡会議(12日まで)
- ▽12日＝第1回愛媛県農業共済組合第1回組合化推進協議会
- ▽15日＝介護保険審査会(審査会議)、(財)全国市町村研修財団評議員会、(財)全国自治協会新法人移行に伴う事務打合せ、中国・四国地区各県町村会災害共済事務連絡会議
- ▽17日＝全国町村議会議長会都道府県会長会、町村議会議員共済会代議員会、全国町村議員会館臨時総会、全国町村議会議員互助会、公務災害連合会臨時総会、第60回愛媛県社会福祉大会、平成24年度愛媛地方税務協議会
- ▽19日＝県と市町との産業保健スタッフ連絡会(第2回)
- ▽20日＝第42回久万林業まつりオーピングセレモニー
- ▽24日＝平成24年度災害共済関係事業の加入推進運動等実施に伴う事務打合せ
- ▽25日＝総務省自治行政局政府税制調査会税制改正ヒアリング、秋の園遊会、全国山村振興連盟理事会、平成24年度消防団員等公務災害補償等全国研修会(26日まで)
- ▽26日＝全国町村会正副会長会、同理事会、政務調査会、(財)全国自治協会第46回海外地方行政調査(11月2日まで)
- ▽27日＝平成24年度「小・中学生のふるさと学習作品展」表彰式
- ▽30日＝宮城県亘理町長ほか人的支援の件で来県、愛媛県防災会議、内外情勢調査会愛媛県5支部合同懇談会
- ▽31日＝「人権のまちづくり対策基本法」並びに「人権侵害救済法」の早期制定を求める第40回「愛媛中央集会」

全国町村 議会議員 団体医療保険

新・団体医療保険(医療保険基本特約・疾病保険特約セット団体総合保険)

保険期間 平成25年1月1日午後4時から1年間

「病気」を補償し、ご安心をお届けする制度です。



安心の団体医療保険 5つの特長

1

「病気」を補償します！

- 病気による入院・手術を補償します。三大疾病(がん・急性心筋こうそく・脳卒中)となった場合の補償もセットできます。
- 病気による入院は、日帰り入院から補償します(注1)。
- また、1回の入院につき120日限度、通算1,000日まで補償します。

4

お手続きは簡単です！

- ご加入の際、医師の診査は不要です。簡単な告知で加入できます(注2)。
- 保険期間は1年間です。以降1年ごとに自動継続となりますので、お手間が掛かりません(注3)。

2

団体割引30%の、割安な保険料です！

ご加入年齢 60歳～64歳の場合
(A型にご加入の場合)
疾病入院保険金 1日につき **5,000円**
疾病手術保険金 手術の種類により **20・10・5万円**
(保険期間1年、年払、
団体割引30%適用)

5

無料の健康・介護相談サービス (損保ジャパン・アシスタントダイヤル)を ご利用いただけます！

3

議員・退職議員の皆さまのための制度です！

- 議会議員を退職後も、継続して加入できます。
- 議員の皆さまの配偶者も加入できます。
- 79歳(保険始期日時点の満年齢)まで加入できます。

(注1) 日帰り入院とは、日帰り手術のため1日だけ入院と同じような形で病室を使用した場合などのことをいい、「入院料」の支払いの有無で判断します。

(注2) 加入申込書および被保険者健康告知書の内容により、お引き受けをお断りしたり、お引き受けの条件を制限させていただくことがあります。

(注3) 本制度は保険期間の途中でのご加入はできません。

※このポスターは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

【保険契約者】
全国町村議会議員互助会

【取扱代理店】
株式会社 まちむら
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館3階
TEL 03-3264-6830 FAX 03-3264-8308

【引受保険会社】
株式会社 損害保険ジャパン
営業開発第二部 第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-3287 FAX 03-3348-6090

SJ12-04705 2012.8.08